

豊の国学 分野別講座

「とよのまなびコンソーシアムおおいた連携講座」とは、大分県内の大学、短期大学及び高等専門学校などの高等教育機関が設立した『とよのまなびコンソーシアムおおいた』が主体となり実施する、大分県に関する様々な分野の専門的・学術的な教育内容等を連携・融合させた講座です。

専門的で、より高度な学習機会を提供することによって県民の生涯学習を支援することを目的として開講します。

今回の講座では、豊の国(大分県)の「文化」と「産業」について深く知り、更に学びを深めていただくために分野別の講演会を行います。

- ◆ 対象／一般の方(各回とも定員40名)
- ◆ 受講料／無料 ※ただし事前の申込みが必要となります。
- ◆ 申込締切／平成28年2月10日(水)必着 ※申込方法は裏面をご確認ください。

【第1回～豊の文化及び産業講座～】

- ◆ 日時／平成28年2月20日(土) 13:00～16:15
- ◆ 会場／ホルトホール大分2F サテライトキャンパスおおいた 講義室 (大分市金池南一丁目5-1)

① 日本の食 大分の食

● 講師：大分大学 平田 誠 准教授

日本人の伝統的な食文化である和食は、平成25年12月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。食自身について考えるとともに、日本の食文化、大分の食文化の特徴についてその歴史を含めて解説します。

② 七島蘭プロジェクトと農工連携についての取り組み

● 講師：大分工業高等専門学校 小西 忠司 教授／松本 佳久 教授／菊川 裕規 准教授／尾形公一郎 准教授

豊の国大分に根ざして50年の大分高専ではアグリエンジニアリングの教育研究を推進しています。本講座では国東七島蘭の豊表生産プロジェクト事例および大分・オランダ・アメリカなどの先進的な農業生産調査結果を紹介し、農業と工業の連携について考えます。

【第2回～豊の産業講座～】

- ◆ 日時／平成28年2月28日(日) 13:00～16:15
- ◆ 会場／ホルトホール大分2F 201会議室 (大分市金池南一丁目5-1)

① 大分県の小児救急医療

● 講師：大分大学 穴井 孝信 教授

大分県で夜間・休日の小児救急医療が整備されているのは大分市と中津市だけです。大分市は大分こども病院、中津市は中津市民病院が担当していますが、その他の地域で夜間・休日の小児救急医療を整えることが難しい現状についてご説明します。

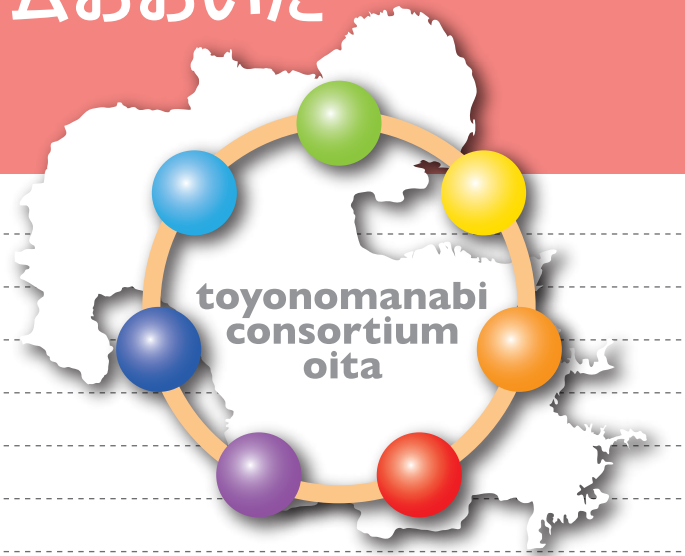
② 大分の地域とくらしを支える交通の問題について

● 講師：大分大学 大井 尚司 准教授

大分県内における「交通」の現状をお話するとともに、地域・くらしにとっての交通の重要性と、それをどのように「活かし」「持続可能」にしていくか、各地の取り組みを含めご紹介いたします。

とよのまなびコンソーシアムおおいた (生涯学習分科会) 構成機関

- 大分県立芸術文化短期大学
- 大分工業高等専門学校
- 大分大学
- 日本文理大学
- 別府大学
- 別府溝部学園短期大学
- 立命館アジア太平洋大学



豊の国学分野別講座への申込方法等

- 受講申込書に記入して郵送いただくか、電子メールに申込書の情報を記入してお申込み下さい。
- 電話での申し込みはできません。
- 興味がある回へ個別申込みができます。
- 申込み多数の場合は、先着とさせていただきます。受講可・不可の通知は締切り後に郵送します。万が一、講座の3日前になっても何も連絡が届かなかった場合は、恐れ入りますが下記問合せ先までご連絡願います。
- 都合により講座日程や内容等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

申込み・
問合せ先

大分高等教育協議会 とよのまなびコンソーシアムおおいた事務局
(大分大学学生支援部教育支援課)
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 電話:097-554-7641・8522
e-mail: manabi-jimu@oita-u.ac.jp URL: http://www.e-consortium-oita.org/k-hp/
(年未年始[12/29～1/3]及び土・日・祝日は休業します)

～(キリトリ)～

平成27年度 とよのまなびコンソーシアムおおいた連携講座 受講申込書 〈豊の国学分野別講座を受講したいので申し込みます。〉

	受講を希望する講座番号を○で囲んでください。 ※複数受講可。第1回・第2回とも受講を希望する場合は、両方の講座番号を○で囲んでください。		
受講希望回	1 【第1回～豊の文化及び産業講座～】 2月20日(土) 13:00～16:15	2	【第2回～豊の産業講座～】 2月28日(日) 13:00～16:15
ふりがな			性別
氏名			男・女
年齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上		
住所	〒 -		
連絡先 (必ず記入)	TEL () - 携帯電話		
	メールアドレス		@